

## 令和4年度 静岡ホーム保育学園事業報告書

コロナ禍での3年目の保育は、4月早々、  
園児、職員がコロナに感染し、クラス閉鎖から始まった。  
感染の波を避けながら、  
昨年度より、園と家庭と一緒に楽しめる行事を計画し、  
行事への参加を通して、  
子どもたちの育ちが繋がってきて。今があることを  
保護者に伝えられた1年となった。

2階乳児園庭にシンボルになる固定遊具(りんごのお家)を設置した。  
0.1歳児だけでなく、未就園児にも乳児園庭で遊ぶ楽しさを増やすことができた。  
感染予防対策として、乳児の行事は中止や、縮小を3年ほど余儀なくされてきたが、  
その中で唯一育ててきた「みもざふえすていばる」が定着し、  
今年は積み木遊びのコーナーを外部委託し、  
保護者に「もっと遊びたかった」と思うくらい楽しいイベントに成長できた。

幼児クリスマス会も、クラス別開催を2年間していたので、  
今年初めて、年長児のページェント(降誕劇)を観た保護者も多かった。  
小さな子たちが、毎年年長児のページェントを見て、憧れ、  
自分たちの出番を心待ちにする思いを  
保護者の方にも気づいていただけたことができた。

入所人数としては、年度初め128名と、  
0歳児が4月は2名と極端に少なく今後を心配してのスタートだったが、  
毎月入所が続き、3月には12名まで増やすことができた。  
年度途中の退職者(3名)が出たため、  
年度末に、新年度入所の子を早く受け入れられなかった。  
児童発達支援事業所との並行通園する子が増えている。  
これからそのような形につなげていきたい子も各クラスおり、  
職員配置も多めにしないとクラス運営が難しいのが現状だ。

いろいろと感染対策を考え、保育を変えたり、新しくすることに気が行きがちだったが、  
長く続けていく良さをあらためて感じた1年となった。

3月25日、第95回卒園証書授与式を挙行する。  
インフルエンザの心配や胃腸風邪、コロナ以外の感染症の心配があったが、  
今年も27名全員揃い、祝福と感謝にあふれた締めくくりができた。  
今年度は、8つの小学校へ巣立っていった。

別表1、2、3、11、12、13

2022年主題 「つながって」～今、わたしを生きる～  
中長期目標 「2030年 保育学園100周年」を大きな区切りと考えて・・・

- **0歳児の入所数の安定** 乳児園庭（2階ベランダ）の整美①固定遊具購入  
魅力ある乳児保育の環境づくりを進めたいと思い、子どもたちの好きな絵本「はらぺこあおむし」に出てくるりんごの形をした家を設置する。りんごの上部が、スタンドグラスのようになっていて、  
ただ中に入る楽しさだけでない作りが好評だ。感染症や天候の心配もあったが、乳児園庭でのくまちゃんひろば（水遊び）も開催ができた。
- **オープン保育園の利用を増やす** 平均3組/1回ふれあいサロン情報スペース作る  
今年も前後半で、若干利用者の入れ替わりはあったが、何回か続けてきてくれる親子がいた。一時預かりを1回利用した親子が、それから遠方にもかかわらず遊びに来てくれたり、「ホームに遊びに行きたい」と思って来園してくれていることがうれしかった。コロナ禍という事もあり、平均にすると3組以下（1回平均2.1組）となってしまった。  
ふれあいサロンは、保護者の登降園時の利用となると動線とずれているので難しく感じるが、絵画造形展の展示や「ミモザふえす」の時は初めて、この場所を使って親が製作をしたり子どもが遊んで親を待つやり方が実施でき、サロンを使っただけの情報発信ができた。
- **保育士の確保** 常勤保育士現在14名+1名確保する  
常勤保育士、現在11名+1名。常勤保育士を昨年度に引き続き採用することはできた。出産、育児休業後の就労に難しさを感じ退職者が2名、1名は介護の為、勤務日数を減らしたい理由で、常勤保育士が減ってしまった。常勤保育士の早番遅番勤務と土曜出勤がある就労体形に難しさを感じているのが、要因の一つだ。

### 【園内行事】

昨年度まで保護者1人に限定した行事が多く、「保護者の参加人数を増やしてほしい」との要望も増えてきたので、うんどう会、幼児クリスマス会は、保護者2名にし、子どもたちの園での様子や成長を感じていただけるように実施した。

4月、イースター礼拝から始まる。小さな子も卵をもらい、ぎゅっと離さず持ち帰る姿や、美味しく食べたとの報告を聞き、ぐっと園と家庭の距離を近づける年度初めの行事となった。

5月、こいのぼり、母の日、歯みがきの絵と製作が多いが、子どもたちは進級して初めてのプレゼント作りにはりきって取り組む。今年初めて、ママ若松町店に「大好きな人の絵」の展示を受けた。

乳児懇談会では、各クラスそれぞれ考えたワークショップで手作りおもちゃを作成し、保護者と和やかに親睦を深めることができた。今回も乳児の父親が参加も数名いて、父母協力しての育児が当たり前となっている。

6月は、今年もコロナ禍だったが、花の日に厚生苑「清流の郷」に慰問に行けた。今年度も、玄関先で施設職員に花のアレンジと子どもたちの写真を添え渡した。デイサービスのほうでは、直接利用者の方に手渡しし、童謡を一緒に歌ってきた。利用者のおばあさま達が作ってくれたペンダントをお土産にいただき、お互いにより取り組みとなってきている。

7月は、井戸水でのプール遊びの慣れ、今年度は塗装の剥がれがひどかったプール内に、シートを貼りきれいにしたので、安全に見栄えもよくなった水遊びとなった。夏の参観週では、その水遊びの様子を見ていただくことができた。また、各家庭1名の限定だが、室内の様子も参観可能にしたので、昨年度より見ごたえがある夏のプール参観となった。

七夕夏祭りは7月ではなく、8月の妙見神社と同じに日に今年も行った。熱中症・コロナと心配の尽きない8月だったが、予定通り夏まつりを行うことができた。七夕飾りは、お祭り終了後、妙見神社に飾っていただき、多くの方の目に入れることができた。お盆期間、コロナ感染も1番心配な時期だったが、月末の保護者面談は予定通り行え、保護者とその子一人ひとりについて話し合える貴重な時間となった。

9月の親子クッキングも2年続けて開催できなかった。(代わりとして、年度末に『救給カレー』(防災食)を渡す。祖父母、地域の高齢者を招いてのふれあいの日は、祖父母の人数を制限させてもらったが、うんどう会への幼児クラスの取り組みの様子を見ていただいた。心を込めたお手紙は、昨年度までと同様、親子で準備していただき、ポストに投函できた。

10月、うんどう会は、乳児は雨上りだったので、楓ホールで行ったが、ホールで行ったことが逆にプラスになり、盛り上がった。幼児は父母そろって参加可能とし、雨上がりのグラウンドで予定通り行うことができた。

11月、乳児クラスのクリスマス会を行った。昨年は、幼児は同日親子遠足としたが、兄弟のある保護者の負担があったため、子どものみで園庭でお店屋さんごっこを楽しんだ。感謝祭の日は、礼拝の後、ご近所、囑託医、消防署などに、家庭から持ち寄った果物を籠盛りにして届けた。

12月、幼児クリスマス会では3年ぶりに幼児クラスの保護者の方に年長児のページェントを観ていただき、代々演じてきたこのページェントを、子どもや保護者が毎年、見続けていくことの意義を職員全員で理解できた。

1月には、昨年行けなかった卒園旅行(三津シーパラダイス)や、市内5歳児と一緒に観劇など、卒園までの行事が復活できた。卒園旅行は、全員そろって行くことが出来て、みんなで喜んだ。

2月の「ミモザふえすていばる」は、昨年までは感染予防として、園庭で行っていたが、今回は、ランチルームで、「積み木の園さん」をお招きし、『WAKU 積み木』のコーナーがあったり、お話・わらべうたのコーナーを作ったり、ふれあいサロンも活用し、充実した遊びが用意できた。

3月は、3年ぶりに掛川花鳥園までバスでの親子遠足が実施できた。乳児も含めて多くの親子が参加した。コロナに代わってインフルエンザも少し感染児が出たが、卒園式では、卒園児だけでなく、証書をわが子から手渡される保護者達もマスクを外して笑顔を見せての手渡しが行えた。

別表4

## 【子育て支援】

コロナ感染によるクラス閉鎖があり、4月、10月のうんどう会、12月は中止としたが9回実施し、35組の親子が遊びに来てくれた。ミモザふえすていばるにも、初めて招くことができ、ミモザの花束を喜んでくれた。

オープン保育園日は、晴れの金曜日となっているので、21回の実施結果となり、43組の親子が遊びに来てくれた。コロナの流行、熱中症の心配もあり、6月後半から8月いっぱい、

来園される方もいなかった。今年度は、入所前に園の雰囲気慣れたいと思い利用してくれた親子もいた。自然に、声を掛け合い、互いに慣れていくことが出来てよかった。やはり、1年ごと、利用者が変わっていくので、新年度うまくアピールできる方法を工夫し、1年1年定着できるようつないでいきたい。

安西小で行っている子育てサロン「ひよこ」は再開したが、なかなか出向くことが出来なかった。

別表5

### 【地域との交流】

「地域への発信は絶やさず」の思いで、『そらいろのたね』子育て機関誌No.35号を発行し、井宮町と合同開催した「秋フェスタ」の内容や、子どもたちがとても楽しみにしている『お弁当の日』だが、母親にとっては、「どんなお弁当がいいのか？」悩むという声も聞くし、愛情たっぷりの、作る人も食べる人もうれしいお弁当のヒントになればと思い掲載した。

また、葵シンボルロードで11月開催していた「保育フェア」が再開し、手作りおもちゃのキットを準備して参加し、来場した親子にプレゼントした。

### 【一時預かり事業・延長保育事業】

一時預かり事業は、入所できなかった母親だが、就労先を決めてきてしまい、一時預かりで、空きが出るまで預かるというケースがあった。出産時の上の子の預かりや、家族の入院、検査など、医療機関のコロナ規制での預かり希望には、できるだけこたえてきた。年度末は、入園前の慣らし保育の為に希望者も多く受け入れた。

延べ人数15人増、前年比116.6%増の活動となった。

別表6

延長保育事業は、前年同様、6時30分以降の延長期保育希望の子が毎日おらず、6時で全園児降園する日が多い1年であった。(6年連続)後半、就労形態が変わった家庭の延長預かりが少し出たが、数的には変わらなかった。6時以降の預かり児延べ人数307名、前年比70%減となった。長時間預かり児が少ないことは、子どもたちの情緒も安定している子が増え、保育士の負担も減り、園内が落ち着いている。また、コロナ対応としてもリスクを増やさず混合保育からの回避など、対策が取りやすかった。

別表7

### 【職員の資質向上】

今年度も、WEB研修が主となり、AVACOのキリスト教保育研修、保育の安全研究・教育センターの危機管理研修などで、例年なかなか受講できない、講師の研修や全国規模の研修を、一人でなく、大勢で共有でき、聴くことができた。

私立保育園園長会は、zoomでも参加できる形は残して、集合で開催も続き、近隣園との情報交換が復活できたが、市の補助金申請の説明会は、質疑応答なしの(個別相談)形なので、理解しにくかった。

園内研修は、6つの部会で展開した。今回のミモザふえすていばるは、各部会で「おたのしみコーナー」を出したので、学びの成果が発揮でき、互いの共有もうまくできた。

公開保育は、1歳児と2歳児クラスで行い、互いの保育を見合う機会を作った。1回は、静岡市保育士会ときわ支部会の理事研修として、岡本淳子氏や、ときわ支部会会長や役員の方にも参加していただき、外部から視線で、静岡ホームの良いところを見つけていただけてよかつ

た。

キャリアアップ研修は、申し込んだが抽選に外れることが多く、3名のみ受講となった。小学校へむけた公開保育は、未広学区での連絡会が中止となり、今年度も全く行われない1年になった。ただ、小学校が情報提供の書類を取りに来る時に、少し年長児の様子を見ていただき、気になる子について口頭でも様子を伝えることができたが、全部の学校とは出来なかった。

保育士全員参加オンライン研修 11月 保育環境「発達にあった活動と教材」  
2月 乳児保育「育児担当制について」

園内研修部会 1. あそびうた(わらべ歌) 4. 栽培  
2. 折り紙(トランスパレント) 5. ガーデニング  
3. おはなし(絵本) 6. ボードゲーム

聖書講話 4月6日 神様との関係を通して、自分では見つけられない自分と人々の大切さを教えらる。三番目の視点。

11月24日 これまで学んできた神の愛とキリストの祈りそして罪の赦しと祝福、また神に願いに合わせ、神の御心に委ねる道を与えられる。

別表8、9

### 【事故報告】

ヒヤリハット25件。経験の浅い保育士からの、提出が多く、自身の保育室の外での、子どもの存在確認でのヒヤリが多かった。発達緩やかな子が増えていることも、このようなケースが増えている事の大きな要因だ。また、昨年同様、小さなものを口に入れる(しまいそうになった)誤飲のケースも、多い。給食室～配膳～クラスのアレルギー対応食、離乳食の確認注意のヒヤリハットが出てくる。毎年でも、書いて、みんなで共有することで事故を防げるように努めていく

事故報告4件で、医療機関を受診した、怪我の報告は1件(保育室での転倒後の嘔吐)。離乳食(形状の違うもの)提供ミスが1件と、押し入れ入り込んでしまった乳児、お迎えの人の確認ミス(母→父)、大きな被害ではなかったが、小さくても事故は事故と捉え、これからの対策を考えるためにも報告書で共有する。

保護者からの意見・要望は0件。コロナ感染予防対応の心配から意見・要望もなく、登園自粛時も、連続した時の協力体制も良かった。

### 【保護者アンケートの実施】

保護者アンケートは、昨年より少し良い評価が増えた。落ち着いて、安心できる環境で、安心や子どもの成長に期待を持ってくださっている事、保育・教育により評価を受けた。課題としては、もっと、我が子の事を知りたい、小さなことでも伝えてほしいと思っている保護者がいることがわかった。保育園での悪いニュース、不適切保育を問われる今、保護者とのコミュニケーション力を、職員一人ひとりが高める意識をしていく。

給食アンケートでは、朝ごはんに、菓子パンや乳製品、菓子を食べてくる子もいるので、親が朝食を食べているのかも含めて、回答を集めた。思っていたより、親も朝食を食べているようで安心した。給食への感謝も多く聞かれ、(調理員が足りない状況で働いている、栄養士達

への励みになった)

例年開催している保護者面談は、8月のコロナ感染拡大で、実施が遅れた家庭もあったが、年度内に全家庭行えた。

### 【職場体験・実習生の受け入れ】

中学生の職場体験は、再開された中学が増え、2校から、計6名受け入れた。「かわいい」と子どもたちとの触れあいを、素直に伝えてくれる女生徒に、未来の保育士への期待がもてた。

養成校保育実習は、体験実習・自主実習の希望もあり、6校、9名を受け入れた。養成校ごとの、指導の違いも、毎回、戸惑いもあるが、学びにもつながっている。実習生受け入れ園と養成校との連絡会も再開し、オンラインだったが参加できた。1名、2日目よりコロナ感染となり、実習が延期となった。幸い、園内で、実習生からの二次感染にはならなかったが、1番当事者の実習生へのフォローが難しかった。今年度も、単位を取るための再実習の学生を受け入れた。保育士の嫌なニュースが多い今、保育士になりたい気持ちを育てていく難しさを感じる。通常とは少し違う、より丁寧に、多くの励ましができるように指導した。

別表10

別表1 総活表

(人)

種別	定員	4年4月1日	5年3月末日	比較増減
保育所	140	128	143	+15

別表2 入退園状況(前年比)

(人)

前年度継続	新規入所	中途退所(転園)	中途入所	前年度との比較増減
109(+2)	19(+5)	1(-2)	16(+5)	+8

別表3 保育人員

(人)

月別	初日 人員	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
		標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間
4	128	2		22		25		25		27		27	
		1	1	16	6	20	5	18	7	22	5	19	8
5	131	4		23		25		25		27		27	
		3	1	18	5	18	7	18	7	22	5	19	8
6	132	5		23		25		25		27		27	
		3	2	17	6	18	7	18	7	22	5	19	8
7	135	6		24		25		26		27		27	
		5	1	17	7	18	7	19	7	21	6	19	8
8	137	8		24		25		26		27		27	
		7	1	17	7	17	8	18	8	22	5	19	8
9	139	10		24		25		26		27		27	
		8	2	18	6	17	8	19	7	23	4	19	8
10	141	12		24		25		26		27		27	
		10	2	18	6	17	8	22	4	24	3	20	7
11	143	12		24		26		27		27		27	
		10	2	17	7	20	6	22	5	24	3	20	7
12	143	12		24		26		27		27		27	
		10	2	17	7	20	6	22	5	24	3	20	7
1	143	12		24		26		27		27		27	
		10	2	17	7	20	6	22	5	24	3	19	8
2	143	12		24		26		27		27		27	
		10	2	16	8	21	5	22	5	24	3	19	8
3	143	12		24		26		27		27		27	
		9	3	16	8	20	6	21	6	24	3	19	8
月平均	138	8.9		23.6		25.4		26.1		27		27	

別表4 園内行事等

	日	行事等		日	行事等		日	行事等
4月	2	入園式	8月	6	夏まつり	12月	10	クリスマス祝会
	7	進級式		20	保護者面談		23	クリスマスパーティー
	8	動物教室		～				
	19	イースター礼拝		26				
	26	内科検診						
5月	6	母の日礼拝	9月	26	ふれあい週	1月	10	新年礼拝
	19	歯科検診		～			17	魚の日
	26	交通教室		30			20	国際交流事業(4歳児)
	28	乳児保護者懇談会					26	お正月遊びの日
6月	16	花の日礼拝 (清流の郷)	10月	4	内科健診	2月	2	交通教室(5歳児)
	30	花火教室		8	うんどう会		3	豆まき
				14	秋の遠足(るくる)		10	魚の日
				20	歯科検診		15	参観会・給食体験
				27	目の検査		～	歯みがき教室
							17	絵画展
					～	乳児ミモザふえすていばる		
7月	13	保育参観	11月	1	総合避難訓練	3月	2	新入園児説明会
	～			5	花育教室 幼児懇談会		3	ひなまつり
	20			10	収穫感謝礼拝		10	親子遠足(掛川花鳥園)
				18	乳児クリスマス会		17	お別れパーティー
				29	アドベント礼拝		25	卒園式

☆毎月1回

- ◎合同礼拝      ◎おめでとつの日      ◎身体測定      ◎避難訓練  
◎おはなし会      ◎英語であそぼう      ☆毎週体操教室



別表5 子育て支援

事業名	月 日	内 容	参加人数子ども(親)
子育て 支援事業	4.22	保育園へようこそ ～園庭であそぼう～	中止
	5.27	カメラマンさんによる親子撮影会&園庭であそぼう	12 (11)
	6.24	保健師さんおはなし 【離乳食体験】中期～1歳	12 (9) 【4】
	7.22	プールで水遊び	8 (7)
	8.26	手作りおもちゃを作ろう	5 (4)
	9.9	大きなイチョウの木の下で ～秋を見つけよう～	13 (12)
	10.8	保育園の運動会にどうぞ	招待やめる
	10.28	かえでホールであそぼう	10(9)
	11.2	北部地区保育園合同あそび「親子であそぼう」 北部地区保育園・北部保健センター＝共催＝	中止
	11.25	歯科衛生士さんのおはなし 【給食体験】完了している1歳以上	12 (11) 【4】
	12.16	クリスマス飾りを作ろう	中止 1 (1)
	1.27	おはなし会 (おはなしせつこさん・ゆみこさん)	11(10)
	2.25	ミモザふえていばるにどうぞ	5 (5)
	合 計		88人 (78人)

オープン保育園日 (毎週金曜日、園庭解放日) 43組

里親サロン9月4日 4組参加

別表6 一時保育事業利用状況 (前年 129名 11.6%増)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計人数
非型	14	16	16	12	10	12	13						93
緊急			3				3	2		1			9
私的		1							1	2	3	35	42
計	14	17	19	12	10	12	16	2	1	3	3	35	144

(非型) 短時間・断片的勤務 (緊急) 緊急・一時的 (私的) 心理的・肉体的負担の軽減

別表7 延長保育事業利用状況（前年 6時以降 432名 71%減）

月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計人数	
6時30分以降	7	1	27	18	15	11	17	15	18	13	27	26	195	
6時 以降	利用徴収	18	7	37	21	20	19	26	23	27	19	37	35	289
	免除	0	0	0	0	0	2	6	4	4	2	0	0	18
	計	18	7	37	21	20	21	32	27	31	21	37	35	307
短時 間	利用徴収	2	6	3	4	3	8	4	1	7	3	5	8	54
	免除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	6	3	4	3	8	4	1	7	3	5	8	54

別表8 職員研修会等

月	日	研修会名	人数	月	日	研修会名	人数
4	26	県保連 連 総会・所長研修	1	10	7	県保育士会 リーダーセミナー	1
5	13	県保連 中 総会 支部 施設長研修	1		13	ときわ 自然と科学	1
6	1	ときわ 理事研修会	2	11	26	こどものとも社 保育内容をどう展開するか	2
	7	県保連 ごっこ遊びと布おもちゃ	2		27	ライオンズクラブ 辻井いつ子講演会	1
	15	ときわ ドキュメンテーション	1		29	県社協 気になる子	1
	23	県保育士会 ドキュメンテーション	1	1	28	県家庭教育学会 子どもとにより良い関係を目指して	1
	25	キ保連 静岡クラブ	4	2	4	こどものとも社 いま、乳児保育に求められるもの	2
8	6	市保育協会 乳幼児の運動遊び	2		8	県社協 決算実務講座	1
	7	百町 森 治療教育とわらべうた	4		10	県保育士会 食育	1
	17	県社協 経理応用講座	1		22	中央ブロック 子育て支援連絡会	1
	23	県教育委員会 幼児教育	1	3	4	キ保連 静岡クラブ	7
9	14	ときわ 理事研修会	2		7	北部地区 地域子育て支援連絡会	1
	16	市養護 保育士会 講座			28	県保連 青年部 中部支部研修会	1

別表9 職員会議等 主任副主任会議 職員会議に出席できなかった職員対象の、内容を伝達する連絡会も行う

月 区分	4 月	5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12月	1月	2月	3月
職員会	15	28	25	23	16	3	15	5	11/26	14	4	18
給食会議	15	16	20	23	16	20	17	18	26	23	4	18
乳児部会	4	9.18	10			12	18	25	31	31	22	
幼児部会	12	13.19	27	5		2	19	8		6.16		1.29
園長会	16	24	21	19	—	15	19	18	16	24	22	14
細菌検査	12	17	14	12	16	13	1	15	13	17	14	14
害虫駆除	15	13	10	8	5	2	21	25	23	19	24	23
おはなし会	—	9	13	11	—	12	17	14	12	16	13	—
防災訓練	28	17	30	28	25 30・31	20	18	1	1/6	2/7	3/6	23
	各ク ラス	地震	火災 花火	地震 水難	洪水 伝言 不審者	火災	地震 引き 渡し	総合	地震 遅番	火災	火災	地震

その他、各行事の実行委員会を行事の前後4～5回行った。

別表10 点検・検査・清掃

項目	月	項目	月
園庭遊具点検	7月(K・Kプランク)	エアコンクリーニング	3月
消防設備点検	5月・11月	ランチルーム高所窓清掃	3月
消防署立ち入り	6月	側溝泥上げ	3月
植木剪定	6月・9月②・2月	屋上配管清掃	3月

別表11 職場体験 養成校保育実習

① 職場体験学習(2年)

学校名	人数	日数	延人数
賤機中学校	3	3	9
籠上中学校	3	3	9

② 保育実習(受け入れ順)

大学等名	人数	日数	延人数	備考
静岡産業大学	1	10	10	3年次 保育実習Ⅰ
静岡産業技術専門学校	1	10	10	2年次 保育実習
常葉大学	1	3	3	1年次 体験実習
常葉大学短期大学部	2	10・2	12	1年次 保育実習Ⅰ 自主実習
英和学院大学	3	12	36	4年次 保育実習Ⅱ 3年次 保育実習Ⅰ
静岡福祉医療専門学校	1	5	5	1年次 保育所職場体験

別表12 卒園児の就学状況 (人)

小学校名	人数	小学校名	人数
井宮	7	番町	1
安西	6	安倍口	1
井宮北	6	田町	1
賤機南	4	城北	1
		合計	27

別表13 園児在園期間 (人)

在園期間	人数
6年以上	6
5年以上	14
4年以上	2
3年以上	2
2年以上	3
1年以上	0
1年未満	0
計	27

別表14 園児 児童発達支援事業所との並行通園児数 (人)

5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	計
2	1	2	1	6

別表15 コロナウイルス感染

区分		名	感染割合	登園自粛(回数)
子ども	乳児	22	40%	2歳児②
	幼児	35	40%	3歳児② 4歳児③ 5歳児②
職員		12	40%	